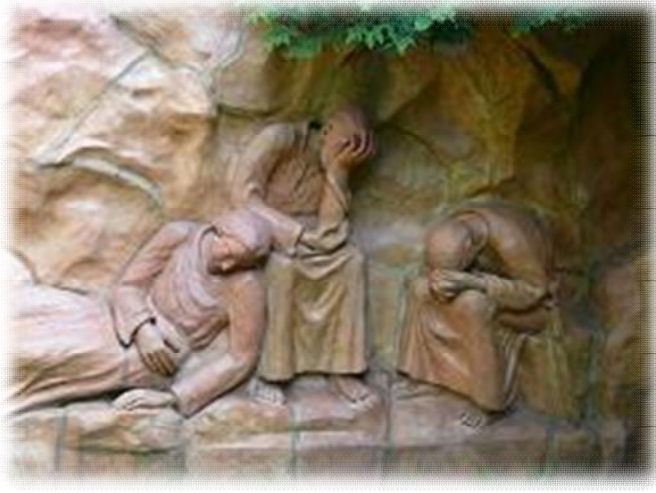


## 工藤篤子メールマガジン 16号

2002.09.20

### ●マリア福音姉妹会訪問



こんにちは、工藤篤子です。

皆様いかがお過ごしでしょうか。

日本へ行く前にしばらく祈りの時を持ちたいと思い、フランクフルト近郊、ダルムシュタットにあるマリア福音姉妹館にやって来ました。実は、ここでの初日にメルマガを書いて日本に送ろうと思ったのですが、ここからメールを送信することは不可能でした。そのため、メルマガの発送が一週間遅くなってしまいましたこと、どうぞお許してください。でも、今回のマリア姉妹会では素晴らしい主との交わりの時を持つことができました。以下、あちらで書いた日記を皆さんにお分かちします。長いですから、お時間のある時に少しずつお読みください。

(写真: マリア福音姉妹会の「イエスのみ苦しみの園」の入口)

### 9月11日(水)主の十字架の愛

昨日、日本でのコンサートで歌曲の最後の移調をやっと仕上げ、今日は晴れ晴れとした気持ちで、こちらへやって来た。まず「3時の祈り」に参加。ここでの主の十字架の苦しみを思う祈りと復活を祝う賛美にはいつも心が大きく揺さぶられる。私はこのような真実の霊の賛美を、未だかつて聞いたことがない。今日は、昨年(2001年)のテロ事件の日、そして奇しくも1944年のこの日、ダルムシュタット市が爆撃された。この姉妹会はこの爆撃がきっかけで創設に至ったのだという。私たちは、アメリカとダルムシュタットの遺族のために祈った。出版部に務めているラテン系の姉妹のためにカドシュ(聖なるかな)をスペイン語で賛美した。というよりは共に主を拝した。

### 9月12日(木)祈りの日

ハンブルグ教会の姉妹と今月、週に一度、それぞれ断食をもって祈りに専心するように導かれている。それはとてつもなく大きな祈りの課題がいくつか生じたからである。今日をその日に当てようと思った。昨日、シスター・ソハラが、そのために主が良いお天気にして下さるよう祈ってくださった。そうしたら雲ひとつない実に素晴らしいお天気! 「主の受難の庭」の中で祈りの時を持つことができた。主の苦しみを黙想していたら、私のうちに潜んでいた、何人かに抱いていた苦々しい思いが示された。「まあいいや」と無視していた自分の思い。残っていたのは硬くなった心。悔恨の思いで一杯になった。そのひとつひとつを示されるままに主に告白していった。しばらくすると、主に愛されている喜びが沸き上がり、賛美と感謝に満たされた。とりなしの祈りができるようになったのはそれからだった。



### 9月13日(金)イスラエルへの祈り

午前中、「聖地」のビデオを観てからエルサレムのために祈った。ここでは毎週金曜日に「イスラエルのための祈り」をしている。ユダヤの安息日が始まる時に、ドイツがユダヤ人に犯したホロコーストの大罪、教会が歴史の中でユ

ダヤ人に犯してきた罪を悔い改め、さらには選民の犯した罪をも告白して、神の民の救いを心から祈っている。何人かのユダヤ人も参加していた。和解がここから世界に広がっているのを見た。夜は、来訪者の交わり会。ひとりひとりが自己紹介をした。心病んだクリスチャンが多かった。今日読んだ箇所が心に響いた。「彼の打ち傷によって私たちは癒された。(イザヤ 53:5)」ここで共にイエス様の苦しみと十字架の意味をかみしめたいと思った。

## 9月14日(土)祈りへのチャレンジ:世の救いのために

午前中、バイブル・スタディーがあった。テレビのないこのシスターたちの方が敏感に世の中の情勢を把握している。世にさらされていない分、霊的な目で世を見ることが出来るのだ。洪水、少年ピストル殺人事件、墮胎(ドイツでは一日 1000 人の赤ちゃんが殺されている!)、同性愛者の結婚式をするドイツの教会、ダライラマを招くスイスの教会・・・「イエス様はどんなに悲しんでいるでしょうか。」と語るシスターの声から主の悲しみが伝わってくるようだった。「今、主は祈り人を求めています。」と熱く語るシスターから、再び祈りのチャレンジを受けた。

イスラエルから来ているユダヤ人のエルザと仲良くなった。彼女は強制収容所での生き残りだが、その時に負った傷はまだ癒されていないという。彼女は私が歌う者だと知ると、食事の時にいつも話しかけてきた。エルザは素晴らしい美声の持ち主で、ドイツ語で私の好きな詩篇を言うと、どこの箇所でもヘブライ語で歌って聞かせてくれた。私もヘブライ語の賛美を歌ったら、目を大きく見開いて、「あなたのヘブライ語はパーフェクトよ。」と、とても喜んでくれた。夜、彼女が一日も早くイエス様が救い主であることを信じ、傷を負った心が癒されるように、と祈った。

## 9月15日(日)「信仰の祭典」とフランクフルト日本人集会

今日はマリア姉妹会の「信仰の祭典」の日。たくさんの来訪者がここにやって来た。礼拝でのバーチ祭司の生き生きとしたメッセージにとっても励まされた。バーチ祭司は、私がここに到着した日に初めてドアの前で会った人だ。ウエスタン・ハットをかぶった優しいおじさま、という感じの方だった。奥様と賛美グループをリードしているというので、歌う人かと思っていたら、なんとシュトゥットガルト近郊の教会の祭司であり、ロシアで虐げられているユダヤ人を助けてイスラエルに入国できるよう大きな働きをしている人でもあった。朝は毎日奥様と、ギター片手に30分ほど主を高らかに賛美するのだそうだ。

午後は「信仰の祭典」。まず私たちの不信仰を悔い改めた。その後は皆で、イエス様の十字架の愛に心から感謝しながら、信仰に生きる宣言をし、高らかに主を賛美した。心から悔い改める時、イエス様の愛が見えてくる。こんな罪深い私のために主は十字架にかかってくださった、と思うと、震えるほど感謝で一杯になる。本当の意味で霊に燃えるには、このプロセスを通してのみ可能なのだと思った。砕かれた心。このシスターたちはそうやって毎日生きているのだ。イエス様を心から愛しているから、お化粧もしていないのに皆とても美しい。

夕方、フランクフルトの日本人集会の愛さん会に参加させていただいた。田辺先生が、マリア姉妹会まで迎えに来てくださった。フランクフルト市内だけでなく、ギーセン、ハイデルベルク、ヴュルツブルグなどからも来ている。このような日本人集会は在住邦人にとってとても貴重だ。田辺先生は、各週で南ドイツ(メアスブルグ)とスイス(バーゼル、ベルン、オルテン)の集会も導いてらっしゃる。その走行距離は毎回1000km、あるいはそれ以上。69歳という先生の年齢を考えると、主がご用のために力を与えてくださっているからこそ続いているのだと思う。このような働き人がヨーロッパの各地にさらに増えて欲しいと願っている。

## お祈り下さい

♪9月22日、ハンブルグの日本人教会主催で、ヴェーデル福音教会にて賛美コンサートをします。日本人だけでなくドイツ人もたくさんいらっしゃる予定です。どうぞよき伝道の間となりますようお祈りください。

♪その翌週は、我が家の壁塗りを計画しています。速やかに終わられますように。

♪聖書の学びを続けているSさんとKさんの救いのために

♪日本のコンサートの準備のために

♪CDニューアルバム「Game To Me」のミキシング、何とか最終段階に入りました。ジャケットのデザインも進行中です。10月18日が発売予定です。イエス様の救いを証しするために用いられますようお祈りください。

晴天のダルムシュタットから戻ったハンブルグは、典型的な北ドイツ気候に移行していました。どんよりした空、朝晩は暖房を入れています。日本はこれから美しい秋ですね。どうぞ祝された毎日でありようにとお祈りしております。また2週間後に近況を報告させていただきます。

イエス様のご愛に感謝しつつ

工藤篤子

---

## 【 事務局より 】

### 1.「工藤篤子音楽ミニストリーズ 関東支援者の集い」のご案内

日時 : 10月18日(金) 7:00PM

場所 : 東京カベナント教会

会費 : 500円 (ティータイム付)

連絡先 : 「工藤篤子

音楽ミニストリーズ関東支援者の集い」事務局 田中秀禾

〒102-0082 東京都千代田区1番町22-1 1番町セントラルビルディング 7F

Tel : 03-3239-0333(月~金) Fax: 03-3239-0331

メールアドレス: tanak@fsinet.or.jp

### 2.「工藤篤子音楽ミニストリーズ 関西支援者の集い」のご案内

日時 : 11月1日(金) 6:30~9:00 PM

場所 : VIP関西センター 9F

会費 : 2000円 (軽食&ドリンク付)

定員 : 100名

連絡先 : 工藤篤子音楽ミニストリーズ事務局

### 3.「工藤篤子音楽ミニストリーズ」の支援者となってくださる方を募集しています。

詳しくは事務局までお問い合わせください。

事務局 〒541-0041 大阪府中央区北浜2丁目3番10号

VIP 関西センター8F

ミッション「宣教の声」方

工藤篤子音楽ミニストリーズ事務局

TEL 06-6226-1334

FAX 06-6226-1336